

# 【テーマ1】 大阪・関西の成長に必要なインフラの強化

## めざす方向

○道路・鉄道ネットワークの充実・強化や港湾機能の強化、幹線道路沿道や鉄道沿線のまちづくりなど大阪・関西の成長に必要な都市基盤整備を推進し、都市の競争力強化を目指します。

### 道路ネットワークの充実・強化

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p><b>■道路ネットワークの構築と活用</b></p> <p>①淀川左岸線延伸部の整備促進</p> <p>②道路公社路線の移管推進</p> <p>③新名神高速道路(高槻～神戸間)箕面・茨木北・高槻IC(仮称)アクセス道路の整備推進</p> <p>④大和川線の工程管理の徹底と整備推進</p> <p>⑤府県間道路の整備推進</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>①淀川左岸線延伸部の調査・設計に着手</p> <p>②完全な料金一元化を目指し、第二阪奈有料道路・箕面有料道路の移管に向けた国等との協議を推進</p> <p>③新名神高速道路本線と合わせたアクセス道路の供用開始(H29年秋頃目標)</p> <p>④常磐東開削トンネル本体の構築(H31年度全線供用目標)</p> <p>⑤国道371号出合第1トンネル本体工事概成(H30年代半ば供用目標)</p> <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <p>・国土軸や関西国際空港、阪神港へのアクセス性向上、物流効率化、産業拠点開発・沿道まちづくりの促進、慢性的な渋滞の解消</p>	<p><b>■道路ネットワークの構築と活用</b></p> <p>①設計および地質調査に着手</p> <p>国直轄道路事業の予算確保に向け、関西の経済界や大阪市と共同で国等へ要望[8・11・1月]</p> <p>②第二阪奈有料道路について、平成31年4月にNEXCOへ移管することが決定</p> <p>③箕面とどろみ・茨木千提寺・高槻ICへのアクセス区間（IC直結部）は、H29年12月10日の本線部分開通に合わせ供用</p> <p>④常磐東開削トンネルは、工程どおり本体（躯体）工事を進めており、底版コンクリート打設は完了[10月]。引き続き側壁や頂版を施工中</p> <p>⑤府県間道路等の整備に向け、着実に事業を推進</p> <p>国道371号出合第1トンネルは平成29年11月に完成</p> <p>新紀見トンネルは和歌山側から掘削中</p>

### 鉄道ネットワークの充実・強化

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p><b>■公共交通戦略の推進</b></p> <p>①なにわ筋線の早期事業化検討</p> <p>②北大阪急行延伸の事業促進</p> <p>③大阪モノレール延伸の事業推進</p> <p>④乗継改善等の促進</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p><b>■公共交通戦略の推進</b></p> <p>①なにわ筋線の早期事業化に向けた関係者合意</p> <p>②北大阪急行延伸の駅・高架部の工事促進(H32年度開業目標)</p> <p>③大阪モノレール延伸の路線測量、環境調査、基本設計を実施(H31年度現地着手目標)</p> <p>④新たに5箇所の提案作成。過年度提案10箇所も含め、関係者と協議・調整を推進</p> <p>宿泊税を活用した新たな補助制度を創設。乗継案内の充</p>	<p><b>■公共交通戦略の推進</b></p> <p>①戦略本部会議において、なにわ筋線の整備主体・事業スキーム等を意思決定[9月]のうえ、関係者による基本合意[11月]。関係者が協力して国との本格協議を実施中</p> <p>②（仮称）箕面船場駅付近の掘削工事及び（仮称）新箕面駅付近の橋脚の基礎工事中</p> <p>③都市計画案の策定を進めるとともに、基本設計等の調査・設計を実施中</p> <p>④乗継改善等にかかる府提案資料（5箇所）を作</p>

<p>■公共交通戦略の見直し検討</p> <p>■おおさか東線の整備促進</p> <p>■連続立体交差事業(*13)等の推進</p> <p>①阪急京都線(摂津市)の事業推進 ②京阪本線(寝屋川市・枚方市)の事業推進 ③JR 東岸和田駅付近高架化の事業推進</p>	<p>実を図る鉄道事業者に対し補助</p> <p>■公共交通戦略の見直し検討</p> <p>・インバウンドの増加や万博・I Rの誘致状況など、社会情勢の変化に対応し、学識経験者などと議論を深めながら、新たな交通ネットワークのあり方など、本格的な見直し検討を推進</p> <p>■おおさか東線の整備促進</p> <p>・駅舎や高架橋等の工事促進(H30 年度末開業目標)</p> <p>■連続立体交差事業等の推進</p> <p>①阪急京都線(摂津市)の事業認可取得 ②京阪本線(寝屋川市・枚方市)の駅周辺の用地買収等の推進(H31 年度工事着手目標) ③JR 阪和線(岸和田市)の上り線高架化完了(全線高架化)</p> <p>◇成果指標 (アウトカム) (定性的な目標)</p> <p>・国土軸や関西国際空港へのアクセス強化、沿線のまちづくりの促進、乗継時の移動負担の軽減、渋滞・踏切事故解消</p>	<p>成。また、過年度作成の府提案資料について関係者と意見交換等実施中 宿泊税を活用し乗継案内の充実を図る鉄道事業者3者(4 駅)に対して補助を実施[8、9 月]。新大阪駅、鶴橋駅、弁天町駅、難波駅で情報案内モニター等の整備が完了</p> <p>■公共交通戦略の見直し検討</p> <p>・学識経験者を交え、今後の交通道路政策に関する懇話会を開催[8 月、1 月]。学識経験者からの意見も踏まえ、新たな交通ネットワークのあり方について検討中</p> <p>■おおさか東線の整備促進</p> <p>・寝屋川橋梁や平野川分水路橋等の主要な橋梁の架設が完了</p> <p>■連続立体交差事業等の推進</p> <p>①事業認可取得(平成30年2月28日) ②香里園駅周辺を中心に、用地買収等を推進中 ③JR 阪和線(東岸和田駅)の上り線高架化完了(全線高架化)[10月22日]</p>
---	---	--

大阪湾諸港の一元化		
<今年度何をするか(取組の内容、手法・スケジュール)>	<何をどのような状態にするか(目標)>	<進捗状況(H30.3月末時点)>
<p>■港湾管理の一元化推進</p>	<p>◇活動指標 (アウトプット)</p> <p>・連携協約(*14)に基づき府市で協議を行う場を設け、港湾管理業務の一元化に向けた取組みを推進</p> <p>◇成果指標 (アウトカム) (定性的な目標)</p> <p>・港湾の国際競争力強化</p>	<p>■港湾管理の一元化推進</p> <p>○「現状で連携可能な施策」と「広域での港湾管理のあり方」の協議調整の場として、府市の港湾局長をトップとした大阪港湾連携会議を設置(29年8月、11月、30年1月開催)</p> <p>○府市間で事務協議を延べ約50回実施</p> <p>・15施策の連携実施を決定</p>

(29年度に連携を実施した施策 10 施策)  
 (30年度から連携を開始する施策 5 施策)  
 ・一元化に関し、他港の事例調査等を踏まえ、  
 制度的に考えられる手法を確認[1月]

**まちづくりの推進**

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H30.3月末時点）>
<p>■<b>箕面森町事業の推進</b></p> <p>①第3区域（企業用地ゾーン）への企業誘致を推進          ②第1区域（住宅ゾーン）の販売の推進</p> <p>■<b>幹線道路沿道及鉄道沿線のまちづくりの促進</b></p> <p>①第二京阪道路沿道のまちづくりに向けた取組みを支援          ②北大阪急行延伸沿線のまちづくりに向けた取組みを支援</p>	<p>◇<b>活動指標（アウトプット）</b></p> <p>■<b>箕面森町事業の推進</b></p> <p>①第3区域の第1期エリア完売、第2期エリアの販売開始          ②第1区域の里山地区(第2期)の90区画のうち30区画を販売(H29年6月販売開始予定)</p> <p>■<b>幹線道路沿道及び鉄道沿線のまちづくりの促進</b></p> <p>①交野市・枚方市星田北・高田地区や交野市星田駅北地区における、土地区画整理組合の設立(H30年度目標)に向けて協議・調整を実施          ②地元市等による千里中央地区活性化協議会等に参画(7回程度)し、千里中央地区活性化基本計画の策定(H30年度目標)に向けて協議・調整を実施</p> <p>◇<b>成果指標（アウトカム）</b>          (定性的な目標)          ・府内での再投資及び府外からの企業立地促進、沿道・沿線の活性化の促進</p>	<p>■<b>箕面森町事業の推進</b></p> <p>①第3区域の第1期エリアは全20区画完売          第2期エリアは全1区画落札者決定          ②第1区域（里山地区【第2期】）は6月から販売開始。24区画で契約済み</p> <p>■<b>幹線道路沿道及び鉄道沿線のまちづくりの促進</b></p> <p>①土地区画整理組合の設立に必要な実施計画の作成に向け、国や市との協議を実施          ②「千里中央地区活性化協議会」において「千里中央地区活性化基本計画」の中間とりまとめを行った[2月]</p>

## 【部局長コメント（総評）】

## &lt;取組状況の点検&gt;

大阪・関西の成長、都市の競争力強化を目指して進めてきた道路・鉄道ネットワークの充実・強化や港湾機能の強化、幹線道路沿道や鉄道沿線のまちづくりなどの都市基盤整備については、当初の目標をほぼ達成しました。

## ■道路ネットワークの充実・強化

当初の目標をほぼ達成することができました。

- ・「淀川左岸線延伸部」及び「国道 371 号」など当初の予定どおり進みました。
- ・「新名神高速道路 IC アクセス」は、平成 29 年 12 月 10 日の本線部分開通（高槻～川西間）に合わせて供用しました。

## ■鉄道ネットワークの充実・強化

当初の目標を達成することができました。

- ・「なにわ筋線」や「大阪モノレール延伸」など、当初の予定どおり進みました。

## ■大阪湾諸港の一元化

当初の目標をほぼ達成することができました。

- ・府市の港湾局長をトップとした大阪港湾連携会議を設置し、「現状で連携可能な施策」の実施と「広域での港湾管理のあり方」の検討を深めました。

## &lt;今後について&gt;

## ■道路ネットワークの充実・強化

- ・淀川左岸線延伸部について、国等と連携して事業が着実に進むよう取り組んでまいります。道路公社路線の移管については、残る箕面有料道路の移管をめざし、引き続き国等と協議調整してまいります。
- ・大和川線の常磐東開削トンネルについては、工法見直しにより設定した計画工程通りに工事が進捗しており、平成 30 年度中に阪神高速ヘトンネルを引き渡すべく、引き続き、一日でも早い全線供用に向け、工事を進めます。
- ・国道 371 号については、一日でも早い全線供用に向け、工事を進めます。

## ■鉄道ネットワークの充実・強化

- ・公共交通戦略に位置づけた路線のうち、なにわ筋線は、平成 31 年度の新規事業化をめざして国との協議を実施するとともに、鉄道事業法・環境アセス等の手続きを進めます。また、大阪モノレール延伸は H30 年度の都市計画決定をめざし手続きを進めます。
- ・おおさか東線は H30 年度末開業をめざし、着実に事業を推進します。
- ・連続立体交差事業は前年度に引き続き着実に事業を推進します。

## ■大阪湾諸港の一元化

- ・「広域での港湾管理のあり方」について、府市で国等関係機関と協議・調整を進め、府市の港湾管理にふさわしい制度の検討を更に深めます。
- ・「連携施策」については、さらに、検討を進めるとともに、改めて府市共通業務を洗い直すことなどにより、一つでも多くの連携施策を実施できるよう取り組みます。

### ■まちづくりの推進

当初の目標をほぼ達成することができました

- ・箕面森町事業については、第 1 区域は、ほぼ目標どおりの区画数の契約を達成しました。第 3 区域の企業用地は、目標どおり 20 区画を完売しました。
- ・幹線道路沿道のまちづくりについては、目標どおり国や市との協議を実施しました。
- ・鉄道沿線のまちづくりについては、「千里中央地区活性化協議会」において「千里中央地区活性化基本計画」の中間とりまとめを行いました。

### ■まちづくりの推進

- ・箕面森町事業については、第 1 区域は保留地処分収入の確保に向け、積極的に営業を行います。また、第 3 区域は平成 30 年度末の企業引渡しに向け造成工事やインフラ整備を着実に進めます。
- ・幹線道路沿道のまちづくりでは、交野市・枚方市星田北・高田地区や交野市星田駅北地区において、平成 30 年度の土地区画整理組合の設立に向けて協議・調整を実施します。
- ・鉄道沿線のまちづくりについては、「千里中央地区活性化基本計画」の平成 30 年度の策定に向け、協議会等において引き続き協議・調整を進めていきます。